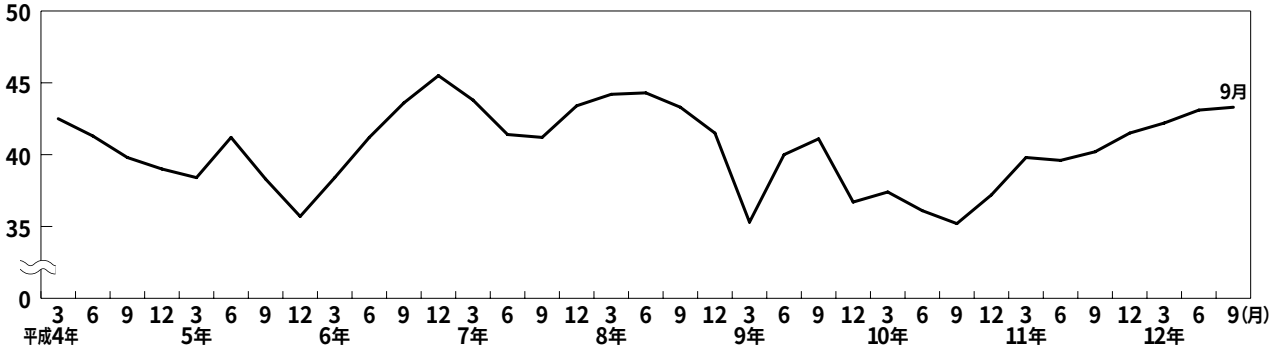
消費動向調査平成12年9月実施調査結果

消費者の意識

(1) 消費者態度指数（季節調整値）の調査結果（第1図参照）

平成12年9月の消費者態度指数は,「物価の上がり方」,「耐久消費財の買い時判断」に関する意識が悪化したものの,「雇用環境」,「収入の増え方」及び「暮らし向き」に関する意識が改善したため，43.3（前期差0.2ポイント上昇）となり，5期連続で上昇した。

第１図　消費者態度指数の推移（全世帯―季節調整値）



(2) 各調査項目ごとの消費者意識指標（季節調整値）の調査結果（第2表参照）

各消費者意識指標について12年9月の動向を前期差でみると,「物価の上がり方」に関する意識（1.0ポイント低下),「耐久消費財の買い時判断」に関する意識（0.7ポイント低下）が悪化したものの,「雇用環境」に関する意識（2.3ポイント上昇),「収入の増え方」に関する意識（0.5ポイント上昇）及び「暮らし向き」に関する意識（0.3ポイント上昇）が改善を示した。

第２表　個別の消費者意識指標の推移（季節調整値）

項目＼調査時期	11年9月	12月	12年3月	6月	9月
1．暮らし向き	42.3（ 0.7）	43.5（ 1.2）	43.3（−0.2）	43.4（ 0.1）	43.7（ 0.3）
2．収入の増え方	41.5（ 0.9）	41.8（ 0.3）	42.1（ 0.3）	42.1（ 0.0）	42.6（ 0.5）
3．物価の上がり方	40.6（−2.5）	42.1（ 1.5）	43.0（ 0.9）	43.5（ 0.5）	42.5（−1.0）
4．雇用環境	31.2（ 3.4）	33.0（ 1.8）	34.7（ 1.7）	38.4（ 3.7）	40.7（ 2.3）
5．耐久消費財の買い時判断	45.1（−0.1）	47.2（ 2.1）	47.7（ 0.5）	47.8（ 0.1）	47.1（−0.7）
消費者態度指数	40.2（ 0.6）	41.5（ 1.3）	42.2（ 0.7）	43.1（ 0.9）	43.3（ 0.2）

（注）（　）内は前期差

消費者態度指数…「暮らし向き」「収入の増え方」「物価の上がり方」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」の項目が，今後半年間にどのように変化すると考えるか消費者に回答をもとめたもの。（基準は50）

資料：内閣府